

アテネのアクロポリス号

広報誌タイトル世界遺産シリーズ

第227号

発行日：令和4年12月1日
発行者：医療法人 博愛会
福田脳神経外科病院 新聞部

診察室から 頭部打撲Ⅱ（スポーツ① 脳震盪）

院長 福田 雄高

今年は11月末より、サッカーワールドカップもはじまり、サッカーに俄然注目が集まっています。当院でもフクダカップが先日開催されました。無心でボールを蹴ることもさることながら、汗を流した後のしゃぶしゃぶと飲茶は、余計に盛り上がりました。

スポーツにおける頭部打撲も注意が必要です。“脳震盪”や、万が一の場合には“頭蓋内出血”を起こしている場合もあります。当院でよく受診されるスポーツとしては、ラグビー、サッカー、野球、バスケットボール、柔道などは多い印象です。

脳震盪の代表的な症状としては、記憶があやふやになる“健忘”だけでなく、“頭痛”、“めまい”、“集中力の低下”、“光に過敏になる”、“バランスがとれない、ふらつく”、“今がいつか、ここがどこかわからない（見当識障害）”などがあります。症状は多彩であり、気づかないうちに脳震盪の症状が起きていることもあるでしょう。

強い頭部打撲を起こした際は、まずは競技にその場で復帰しないこと。脳震盪を疑った際は受診をお勧めします。問診、診察に続き、頭部CTなどの画像精査を行います。競技などで頭部打撲の強度が強い場合、脳震盪、あるいは頭蓋内出血を疑う際は、CTで問題なくても、時間をおいて頭部MRI精査までチェックすることも重要ではないかと考えます。

そのうえで、しっかりと休養をとること。頭痛などの自覚症状が消失した後の段階的な競技復帰が望ましいとされています。競技復帰は、受傷後24～48時間の安静状態（身体的、精神的）、その後おおよそ約1週間のプロセスを経て、段階的に活動度を上げてからが望ましいでしょう。

少しでも安全にスポーツを楽しむために、頭を打った際は慎重に判断し、少しでも心配な際は受診、相談頂ければと考えます。

夕方、サッカー

“Ningún jugador es tan bueno como todos juntos. (Di Stefano)”

「どんなサッカー選手でも、皆で一緒でないとそんなに良くない」

（チームがないと、その選手は成功することはできない。）



学会参加報告

副院長 大園 恵介

この度、脊髄障害学会が主催する第57回日本脊髄障害医学会（2022.11.17～18 パシフィコ横浜会議センター）に参加する機会を与えて頂きましたのでご報告させていただきます。日本脊髄障害学会は脊髄損傷を中心とした脊髄障害の病態、治療、管理、リハビリテーションなどに関する研究発表、知識交換、連帯協力等を行う目的で設立されました。現在会員数は1200名余りで、脊髄障害に関係する整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、神経内科などの医療スタッフが一同に会する大規模な学会です。

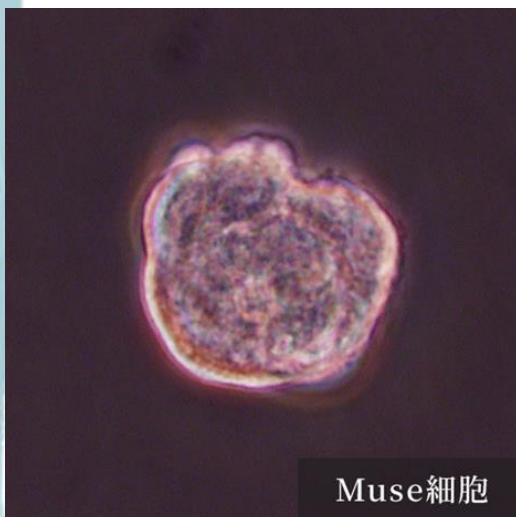
第57回目となる今回の学会の主なトピックスは2つ。

①脊髄再生医療、②ロボット支援脊椎手術でした。



① 脊髄再生医療

現在の脊髄再生医療において Muse（ミューズ）細胞という万能細胞が世界をリードしています。Muse 細胞とは 2010 年東北大学出澤教授のグループによって発表された生体内に存在する新しい万能細胞であり、各臓器に存在し、肺や肝臓、心臓、骨や神経組織など様々な細胞に分化する能力を持っています。元々生体内に存在するので非常に安全性の高いものであるため注目が集まっています。Muse 細胞は SOS シグナルを出す傷ついた臓器に、自発的に遊走し自発的にその臓器に分化していく性質があります。現在は脊髄損傷発症後 14-28 日以内の患者へ点滴投薬を実施し、有効性・安全性の評価を行っている段階です。



Muse細胞

せきすい 間葉系幹細胞を使った脊髄損傷の治療法のイメージ

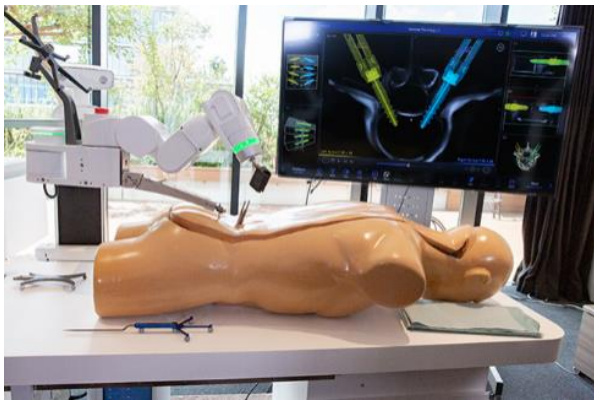
間葉系幹細胞
骨髄や脂肪などに含まれる。傷ついた細胞
を入れ替える。骨や神経などに分化できる



② ロボット支援脊椎手術

腰椎椎間板ヘルニアや腰椎すべり症、腰部脊柱管狭窄症などの治療においてスクリューを用いた脊椎固定術を行っております。日本では年間6万例以上の脊椎固定術が実施されており、そのうち8割が60歳以上の症例であります。高齢者人口増加に伴い脊椎固定術のニーズも増加してくることが予想されています。脊椎固定術の手技の一つにスクリューを脊椎に挿入し、スクリュー同士をロッドで連結する作業があります。その際、背中を大きく切開し、目視下でスクリューを挿入しますが、X線撮影によってスクリュー先端部の位置の確認を行いながら操作を行います。患者・術者双方に被爆を含めた身体的ダメージを伴う為、昨今ではナビゲーションシステムを用いた低侵襲手術が登場しております。

低侵襲手術では大きく皮膚を切開する必要がなく、ナビゲーションシステムで3Dデジタル上で正確な骨の位置を把握し、ロボットがスクリューを挿入する位置と向きをガイド、誘導してくれるため、正確性が増し、X線被爆が不要な環境が実現できます。



美化活動報告



西側の花壇にパンジーを植えました。
気温が低い冬の時期は、春へ向けての準備段階です。春にはたくさんのきれいな花を咲かせてくれるように、たくさん愛情そそぎます(^)



FUKUDA カップ

主催：院長

実施日：11月25日

参加者：院内スタッフ子供から大人

参加要項：未経験者でもOK

フットサル後の楽しみ：MK レストラン（しゃぶしゃぶ・飲茶食べ放題）



子供達と一緒に参加させてもらいました。大人の中にまぎって楽しそうにプレイする姿が見れてよかったです。M

フットサル、やってみるととても楽しかったです。スタッフの違った面を見れました！
また参加したいです！

S



年末年始のお知らせ



R4年				R5年			
12/29 (木)	12/30 (金)	12/31 (土)	1/1 (日)	1/2 (月)	1/3 (火)	1/4 (水)	
通常通り	通常通り	休診	休診	休診	休診	通常通り	



12/29 (木) は在宅医となっております。
尚、**具合の悪い方・急患**はこの限りではありません。
いつでも遠慮なくお電話でお尋ねください。

